

こんにちは

白子の議会

です

第150号

令和5年11月2日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



令和元年12月11日から現職議員の任期がスタートしました。

顧みますと、コロナ禍によるオリンピック・パラリンピックの延期や各種イベントの中止、ロシアによるウクライナ侵攻、急激な円安や物価高騰、新しい石井町政のスタート、町が被告となる裁判など、さまざまなことがあった4年間でした。

令和5年12月10日で任期満了となりますが、残された期間もこれまで以上に議会活動・議員活動に専念・精進しますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和5年第3回定例会(9月13日～9月21日)

- 📍 5議員が一般質問 2～6ページ
- 📍 補正予算等の質疑応答 7～8ページ
- 📍 こんなことが決まりました 8ページ

一般質問 町政をきく

実用英語技能検定の補助について

宗島 理仁 議員

議員 公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定、いわゆる英検の受験料の補助を全国の自治体が実施しています。

国際的な共通語である英語でのコミュニケーション能力向上は、グローバル化が進む今時代において必要とされ、また、外国語学習が小学校においても強化されていき、英語教育の推進がこれまで以上に求められていることを鑑み導入されてきています。英語に関心を持ち、学習意欲を向上させる機会

の一つと考え、児童生徒の英検チャレンジを支援するための制度として、この検定料の補助を我が町でも導入すべきかと思いますが、見解を伺います。

中学生に向けて

教育長 近隣の市町村では、一宮町、長生村、長柄町において検定の合格者に対して、一部助成をしているところがあります。

現在、白子町では、小学生を対象に土曜スクールを開講し、検定取得を目指すコースを設置し、資

格取得を目指す児童の支援をしていることから、今後は中学生に向けて、英語技能検定の受験に関して助成することを検討してまいります。



個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進について

議員 令和の日本型学校教育では、正解主義や同調圧力といった従来からの問題を克服し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進していくことで、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげようとしています。

個別最適な学びには、学習者一人一人の特性や

学習到達度に応じて、指導する側が学習環境を整え、学習時間を設定したりします。

協働的な学びは、子供たちがグループで一緒に資料を作成する、たくさんの方の意見を共有しながら合意形成を図っていく、といった活動などが挙げられ、こうした活動はICTを活用することで、より発展させることも可能としています。

我が町においては、どのように実践されているのか、小・中学校の取組の実態や生徒の様子を伺います。

各学校において様々な取組や研究を進めている

教育長 教育現場では、子供たちの多様化、教員不足、働き方改革など教育を取り巻く課題が山積しております。

そのような中で、中学校数学科においては習熟度別に個に応じた学習支

援を行っているところで

また、GIGAスクール構想により整備された1人1台のタブレットを使い、自分の考えを電子黒板に書き込み、他者の考えを比較することで話し合いを進め、考えを深めるために活用しています。

今後、タブレットパソコンの持ち帰りを推進するなど、ICT機器の活用を通して、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善を図ってまいります。



町の企業紹介を積極的に

梅澤 哲夫 議員

議員 白子町には、世界に誇るヨウ素というものがあります。これに関連する企業2社、建築資材宇宙産業の部品、その他各種製造会社を含め11社が白子町企業情報連絡協議会の情報が町商工観光課より出されております。

白子町にも優秀で頑張っている企業があることを拡大し、シリーズにして町の企業紹介をしてみたいと思います。また町の子供たちの企業視察等教育指導について伺います。

情報発信し地元雇用と結びつけたい

町長 私も同じ思いです。今、町では製造業120億、建設業80億、町全体で340億。今、落ちてる旅館業は、本来40億あり加えると400億近い数字となります。町企業間の提携協力及

び町産業経済の発展は地元雇用の課題であり情報発信をしていくこととしております。

ふるさと教育の一環として

教育長 関小学校において天然ガス、ヨウ素など企業訪問話を聞いております。

各小中学校においても地元企業を知る事で、ふるさと教育につながりますので推進していければと思っております。

小売店の再考は

議員 経営者の高齢化などにより経営の縮小、廃業される方もありますが、地元スーパーの少ない今日、小売店の活用について再考はあるのか。また、今後の動向調査、援助の考えはあるのか伺います。

げんきポイント等で

町長 今の時代かつての雑貨店のような様々な小売店の再登場は時代の流れの中で非常に厳しいと思われる。サービス会のげんきポイント等で相応の効果ができているところです。

商工会に聞いて

商工観光課長 小売店については、商工会で取りまとめていますが、相談については今後の小売店の振興のため商工会に問うような形で突き詰めてみたいと思います。

買物難民対策は

議員 町でスーパーマーケットの穴埋めとし移動スーパーが展開しておりますが月の売上げ120万円、顧客数のべ882人、1週間に50か所、延べ200か所販売し、1日の売上げが7万

円で、少しの赤字と聞きます。今のところカスミの企業努力にて行われていることですが、今後に向けて地元小売店の協力などで持続可能性を強められないか伺います。



見直し検討を

企画財政課長 カスミとは包括連携協定の中で行っておりますが、他の市町村での実績をみると半年から10ヶ月での見直しとなっております。効率の良いところを探していきます。

スーパー再建は

議員 スーパーの再建は用地の確定からと言われ

ますが、候補地はどこか、また、土地の転用についてどこまで進んでいるのか伺います。

今、お願い中

町長 用地の候補としては、ウエルシアの東側を考慮しており、転用等については産業課長、建設課長が県に出向き、農振除外について協議中です。予定している業者については、現在進行中の事業終了後となっております。

ふるさと納税の現況は

議員 納税の1方法として定着しつつある「ふるさと納税」の現況について伺います。

郡市内3番目

町長 二〇二三年度の納税額は、1億5千万円前後で郡市内では3番目となっております。

観光促進について

東海林 東治 議員

議員 観光促進においては、活動指針に基づいて進める事が大事で、現在の状況を伺います。

その指標は、各分野に設定された項目をデータ毎に把握、目標の設定、取り組み、対策状況のモニタリング検証の下、改善策を図る施策が必要であります。

過去に明治大学の学生が、「超偏重型観光都市・千葉県白子町の考察と提言」を多くの観点より分析され、その内容は、大きな課題と改革が明確に掲げられております。

その分析で注目すべきは、豊富な観光資源を要しながらも、以前の主流である団体型、長期機関型から離脱せず、厳しい状況に置かれた老舗リゾートであるが、資源を生産的に利用する事で、今後の国民ニーズに対

し、幅広く対応出来る観光地としてのポテンシャルを秘められた町と評価しております。多くの分析結果を基に、今後の課題としてどの様に取り組むか伺います。

DMOの設立を視野

町長 旅行者ニーズが多様化する中で、コロナ感染症の影響により、観光を取り巻く環境は変化して、新しい形を積極的に取り入れる必要があると思えます。

地域観光の舵取り役となるDMOの設立を視野に、市場調査、観光事業者、関係者を含めた観光振興計画を進めていきます。



観光資源の育成強化

議員 白子町のまちづくりに繋がり、大都市との交流、又国際的な外来者へ地域の紹介及びニーズに応じた観光ルート等の情報提供、同地域の文化、歴史、伝統芸能を直接体験等々があります。

白子町は、スポーツと観光の町を主に押し出しておりますが、テニスだけでなく、多目的グラウンドが存在し、日本国内外に留まらずアジア、世界の有数スポーツニーズの多様化に対応でき得る町であり、国際交流拠点になるポテンシャルを秘めております。今後の魅力アップ推進について伺います。

誘客の必須項目

町長 ご指摘の通り、観光資源の育成、新たな開発は、誘客を図る上、必須項目であり、観光振興計画策定時に検討してまいります。

本町は、テニスだけの

観光に捉われず、新たな多目的スポーツで観光客獲得へと転換を図って、更に美肌効果、疲労回復効果が認められる白子温泉の効能を全面に押し出し、そして地域食材を生かしたメニューを提供し、誘客活動を図ってまいります。



総合教育会議の内容

議員 大きくは、学校統合問題、また予算や条例提案等に加え、保育、福祉等の首長の権限の下、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保し、教育委員会と首長の連携強化を図るために規定されたものと思えますが、その趣旨説明を伺います。

教育大綱の策定

町長 首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点

的に講ずべき施策等に協議・調整を行う場であり、今後本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方向性を示す大綱を策定します。

ふるさと白子教育は

議員 教育基本方針策定に、「郷土を愛し、心豊かたたくましい人材育成」を掲げております。郷土に誇れる9名の偉人伝の冊子が、秋谷先生の下、作成されております。この教材を郷土への愛着と誇りを持ち、将来の人材育成に繋げていく施策を伺います。

郷土への理解と愛着

教育長 ふるさと教育の一環として、小、中学校では、各々テーマの元々実施しております。

白子町の将来を考える子ども議会の開催に向け準備しており、中学においては、防災講演を実施し、郷土への理解と愛着を育んでおります。

◆マニフェストの進捗状況は

- ① 実行率92%について
- ② コンパクトシティの内容について
- ③ 小学校適正配置について
- ④ 白子バイパス整備促進について

大多和 秀一 議員

町長就任以来2年余りが経過したが、財政的裏づけ、数値目標、実施期間などを考慮して、進捗状況について項目を4点に絞り伺いました。

実行率92%

その内容は？

議員 広報しらこ6月号に掲載された、白子町コンパクトシティ構想「住んでよかったと思えるまちづくり」が、着実に前進、実行率92%と書かれた内容について伺います。

具体的な進捗状況を表したものではありません

町長 全12項目のマニフェストのうち実施済みが2項目、一部着手が9項目、検討中が1項目となり、12項目中11項目に取り組んでいるということ

とで、実行率92%となりました。取り組みを始めたということを例示したものであり、具体的な進捗状況を表したものではありません。

コンパクトシティ

具体的な内容は

議員 茂原・白子バイパス第4工区2.1kmの沿線を中心に公共・商業・住居等をゾーニングしていきますが、もう少し点で落とす構図の必要性を感じますが、これについて伺います。

また、白子町都市マスタープランの改定により、

効率的な都市を実現するとありますが、コンパクトシティとの関連性について伺います。

マスタープラン改定の中で検討

町長 白子町で検討しているコンパクトシティについては、今後の開通を見据えている茂原・白子バイパスを中心に公共施設、住宅、商業を配置し、町の中心となる地域を整備していくこととするものです。

後期基本計画では、今後のまちづくりの核となる施策として掲げてありますが、具体的な内容については、これから議論される白子町都市マスタープランの改定作業の中で検討されることになります。

統合の賛意60% 今後の進め方は？

議員 小学校の適正配置について、調査を経て6割の統合に向けての賛意

があること、時期が単学級から複式へと移行が見込まれる年度にという考え方が示されました。これに伴う学校の配置学習指導要領を踏まえた小中一貫教育の考え方にについて伺います。

最終答申に向けて準備

教育長 10月、11月に第2期の保護者、地域住民との意見交換会を実施する予定です。年明けには最終答申を教育長、そして町長に出されることになっていきます。

統合を進めた方が良いという答申になった場合、議会の承認を得て仮称になります。統合準備委員会を立ち上げて、統合に向けて小中一貫校の具体的な在り方、スクールバス等の運用などについて検討を進めていくようになります。

バイパスの促進に向けて町ができることは？

議員 県道である茂原・白子バイパス、事業主体が千葉県となりますが、マニフェストの実現に向けて重要な役割を担う道路の完成を目指して、町に何ができるのか伺います。

第3工区の線形の決定に着手

町長 千葉県では今年度第3工区の線形を決定する設計を進めているところです。

町では千葉県へ早期完成の要望を実施し、整備実施機関である県長生土木事務所に対し、第3工区の早期事業化を要望し用地買収についての協体制度を強化していきます。



町サッカー場脇のT字路

どのようなにすすめるまちづくり その重点施策は

市川 隆子 議員

議員 まちづくりは、人と人とのコミュニケーション

ションづくりも含めて、住んでいる人が心豊かに生活するために必要な整備であると言えると思います。

しかし、町民からは、スーパーがなくなると不便になった。町に元気がないなどの声がありますので、町民の声をしっかりと受け止めて町政運営をしていただきたいと思います。
町を活性化させるための重点施策について伺います。

各課協力して

町長 農業、観光、移住定住、シティープロモーションそれぞれ施策には複数の事務事業が予定されており、各課が協力しながら町の活性化に努

めているところです。

海岸北側公園の整備を

議員 町が指定管理者として管理しています。少し前にマスターズオープンサーフィン選手権大会が開催されました。

公園には、トイレとシャワーがありますが、電気がなくシャワーは水の出が悪く、排水も悪い状況です。

県と連携して整備を進められないのか伺います。



刺金海岸公園トイレ・シャワー

県と協議していきたい

町長 施設の利用増進及び利便性向上、整備の検討は必要と考えていますので、県に対して要望、協議をしていきたいと思っています。



特別障害者手当の 周知を

議員 特別障害者手当は重い障害のある在宅の方が対象で、所得制限などの要件がありますが、障害者手帳がなくても、要介護4・5の方は対象になる場合があります。

この制度は知らない方も多く、受給者はあまり増えていないと思われる。現在の受給者と周知の方法について伺います。

制度の周知を図っていく

町長 特別障害者手当は、月額2万7千980円、年4回支給されており、8名の方に支給しています。

周知は、手帳所持者へ渡す更生援護の手引き、町ホームページで行っています。

今後は、広報での周知、介護保険利用者対象の手引きでの周知、認定調査員、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携し、制度の周知を図っていきます。

給食費の無償化を

議員 給食費無償化は、千葉県では12自治体が実施しています。

憲法26条では義務教育の無償化が定められ、給食も教科書無償化と同じ

く、無償と考えるべきだと思いますが、町の考えを伺います。

動向を注視し検討

町長 本町では、子育て支援の一環として、第3子以降の給食費無償化を実施しています。

近年、物価高騰により家計が圧迫されているのも事実ですが、本町においては、財政面において完全無償化には至っていません。

今後、県内市町村の取組状況や国、県からの支援等、動向を注視し検討していきたく思います。

その他

「町の特産品について」
「ひまわり長寿プランについて」
「教員の長時間勤務について」

それぞれ質問を行いました。

補正予算等に対する

質疑応答

令和5年度白子町一般会計第2回歳入歳出補正予算について
議案第2号

〔北田百人 議員〕

議員 有害鳥獣の捕獲費が49万5千円になっていますが、内容について伺います。

環境課長 貸し出し数に限度があり、箱罾が不足している状況ですので1基4万9千円で10基購入しました。

議員 高くないですか。市販の捕獲器は1万円前後で購入できます。県からも貸し出しがありますのでそちらも検討した方がよいです。購入先はどこですか。

環境課長 白子町の房総プラント株式会社から購入しました。

県からの貸し出しを重点において、購入においても適正な金額で購入出来るように検討したいと思えます。

〔市川隆子 議員〕

議員 空家対策協議会委員が決まり、今後は空家対策の計画、あるいは指針などつくるのか伺います。

建設課長 8月8日に会議を実施し、町の空家の状況とか、今後の事業の進め方を説明しました。今後は、空家の実態調査を実施し、計画の策定に進んでいきます。

令和4年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

認定第1号

〔宗島理仁 議員〕

議員 保健体育総務費に

ついて、予算流用がされています。

流用については、予定外の経費として使用する以上、やむを得ないものに限り、必要最小限にとどめて行うべきものと考えます。

自治体によっては、適正な財政運営のため財務規則等において制限し、財政部署との協議を必須とするところもあります。流用については、具体的にどの事業・補助金へ流用されたのか伺います。

生涯学習課長 3月に国民体育館の利用を停止しました。

それまでは国民体育館を利用していたバドミントンの団体が小学校の体育館で活動を続けるために、早急につけていただきたいという声がありましたので、対応させていただきます。

令和4年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第2号

〔市川隆子 議員〕

議員 生活が大変になっている状況の中、昨年度と比較しての滞納世帯の状況と、滞納されている方に町はどのような対応をしているのか伺います。

税務課長 昨年度と比較してほぼ横ばいという状況です。

滞納者への対応は、今までも行ってきましたが、滞納される方の状況等を踏まえ、電話や窓口等での話、また、プライベートの話もありますので、個室で納税等の相談をしています。

令和4年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号

議員 介護保険を利用するためには、申請をし認定されるまで1ヶ月程度だったのですが、それよりも時間がかかるようになってきたと聞いています。実態はどうか伺います。

ます。

健康福祉課長 日数については、やや延びてきているというのが実態です。

議員 原因として調査員などの人材不足等があるのか伺います。

健康福祉課長 人材不足ではなく、調査件数が増えているのが原因だと思います。

令和4年度白子町コミニティ・プラント事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定第5号

〔大多和秀一 議員〕

議員 事業の特別会計化から数年が経過しましたが、決算の状況を踏まえて今後どのように考えていくのか伺います。

町長 特別会計化をした理由として、収入、支出等を明確化して、状況をよく把握し、このあり方



について検討することにあります。下水道という社会資本の観点から、町負担は当然の部分もありますが、合併浄化槽地域とのバランスも考えていかなければなりません。

議員 一般会計からの繰入金について限度額が定められていませんが、この考え方について伺います。

町長 今の段階では、まず料金の適正化を図り、その上で繰入限度額の設定をしていけば良いと私は考えています。



請願

請願第3号

各種団体に対する補助金交付制度見直しに関する請願書について (採択)

発議案

発議案第1号

議会基本条例の制定について (可決)

決算認定等

認定第1号〜第6号

令和4年度の白子町一般会計ほか、国民健康保険事業、後期高齢者事業、介護保険事業、コミュニティ・プラント事業、町ガス事業の5事業特別会計の歳入歳出決算及び欠

損金の処理については、認定することに決定されました。

※その他は、広報しらこ10月号やホームページをご覧ください。

議会改革特別委員会報告

町民に開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指し、今後とも議



計報



板倉 正道 議員

板倉正道議員(74歳)が、去る9月19日に逝去されました。

故人は平成13年5月に白子町議会議員初当選以来、6期に亘り町議会議長や広域議員など数々の役職を歴任され、常に議会の先頭に立ち、まとめ

会改革に取り組むとする委員会報告がありました。

自動販売機設置に関する調査特別委員会報告

法律的な判断は司法に任せ、自動販売機設置に関する議会の調査結果として、文書管理や議員発言に対する委員会報告がありました。

役として町政の進展に尽力されました。

また、地方自治の多大なご功績により、旭日単光章を受章され、全国町村議会議長会自治功労賞も受賞されました。

町議会では、9月21日の定例議会の冒頭に、故人の遺徳をたたえるため、議会を代表して齋藤鉄也議員が哀悼の辞を送られました。

このたびの計報は、地元住民や町議会としても衝撃であり惜しまれてなりません。

ここに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

今井 滋則

メジャーリーグのア・リーグに所属する大谷翔平選手が、日本人選手として初めて本塁打王の座を手にしました。

投手としても一流の成績を残しながら、ホームラン王になる野球選手は前代未聞であり、野球というスポーツの中で新たな可能性を示してくれたように思われます。

前例のないことに挑戦することは大変な覚悟を要するものであり、今回の大谷選手の功績には大きく励まされた次第であります。

白子町議会議員も12月には任期を迎え、議会広報編集委員会も新体制となります。

この4年間ご愛顧頂いた町民の皆様にご心よりお礼申し上げますと共に、これからもご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。